赤い鳥

小川未明

青空文庫

鳥屋の前に立ったらば
赤い鳥がないていた。
私は姉さんを思い出す。

電車や汽車の通ってる
町に住んでる姉さんが
ほんとに恋しい、なつかしい。
もう夕方か、日がかげる。
村の方からガタ馬車が
らっぱを吹いて駆けてくる。

鳥屋の前に立ったらば
赤い鳥がないていた。
都の方をながめると、
黒い煙が上がってる。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集　3」講談社
　　1977（昭和52）年1月10日第1刷
　　1981（昭和56）年1月6日第7刷
初出：「赤い鳥　特別号」
　　1919（大正8）年2月
※表題は底本では、「赤《あか》い鳥《とり》」となっています。
入力：ぷろぼの青空工作員チーム入力班
校正：本読み小僧
2012年8月21日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

赤い鳥

小川未明

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/